

① 学習指導案

プログラム	No. 11「地域景観プランナーになろう」 一部 (No. 5「地域カルタをつくろう」を「柚野の景観を木札に表そう」に替えて実施した)
単元名 (全30時間)	柚野のガイドさんになろう
学習のねらい	身近な景観の良さや大切さに気づき、人や物と関わりながら柚野地区をもっと知り、よりよい町になるために自分たちにできることを考える。 学校教育目標「柚野を愛し、柚野に学ぶ」姿の具現化を目指す。
学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 「景観学習」について全校児童が参加したキックオフプログラムを行う。 2 学区の探検をしたり、調べたり、柚野地区に愛着を持っている方や詳しい方の話を聞いたりして、柚野地区を知る。(3年) 3 地域の素敵な景観を探す。(3年) (1、2では、3年生と並行して4～6年もそれぞれテーマを設け、柚野地区を学ぶ地域学習を行っていく) 4 柚野の景観をさらに良くしていくための活動に参加し、(地域の方との植樹活動)地域の絶景スポットやこれからも大切に守りたい風景、人々の手によって守られているものなどを木札に表す。(3～6年) 5 他の人にも地域の良さ(景観)を伝えたり、地図を作成したりする。(3年)
参考資料 準備品 実施場所等	実施場所：柚野学区内、場所は、子供たちの探究活動により異なる。植樹活動は、地域のNPO法人「どんぐりの会」の力添えをいただきながら学区内にある山、柚野山で行った。

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
0	「景観学習」について全校児童が参加したキックオフプログラムを行う。	柚野学区の自然、景観について興味をもてるよう促す。	
13	学区の探検をしたり、調べたり、柚野地区に愛着を持っている方や詳しい方の話を聞いたりして、柚野地区を知る。	見せたい「景観」や「人」を意図的に児童に出会わせ、児童が景観学習の視点をもてるようにする。	主体的に取り組む態度【主体性】(観察・ワークシート) 思考・判断・表現【課題の設定】【情報の収集】(観察、ワークシート)
8	地域の素敵な景観を探す。 ※3年生と並行して4～6年もそれぞれテーマを設け、柚野地区を学ぶ地域学習(総合学習)を行っていく。	どうしたら魅力が伝わるのか投げ掛ける。 景観をさらに良くしていくためには、という思いをもてるようにする。	知識・技能【概念的な知識の獲得】(ワークシート)
3	柚野の景観をさらに良くしていくための活動に参加する。 ※地域の方との植樹活動(3～6年) 地域の絶景スポットやこれからも大切に守りたい風景、人々の手によって守られているものなどを俳句や短歌、メッセージに込めて木札に書き、植樹した木に付ける。(3～6年)	景観まちづくりを実際に行っているNPO法人の方々の思いに触れられるようにする。 もっと良いまちになるためには、何が必要か考えられるようにする。 木札に書く言葉にどんな思いを込めたら良いか、どうしたらまちづくりにつながるか話し合いの場面をもつ。 地域の魅力を感じたり、まちづくりをする一員なのだと自覚したりできるようにする。	主体的に学習に取り組む態度【協働性】【社会参画】(観察、ワークシート) 思考・判断・表現【まとめ・表現】主体的に学習に取り組む態度【将来展望】(観察、木札)
6	他の人にも地域の良さ(景観)を伝える。(計画、準備含む)	どうすれば効果的に伝えることができるか、話し合ったり、経過発表会等をしてよりよい伝え方を考えられるようにする。	思考・判断・表現【まとめ・表現】主体的に学習に取り組む態度【将来展望】(観察、発表資料)


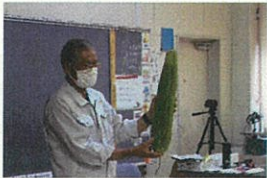







<留意点>

一部、3年生だけでなく、4年生から6年生も景観まちづくり学習の計画に入っている。
担任は、3年生の子供たちと景色＝景観と捉え、学習を進めている。

② 事業実施報告書詳細

学校名 静岡県富士宮市立柚野小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
0	体育館	「景観学習」について全校児童が参加したキックオフプログラムを行った。 朝礼で職員が、まちのパーツを提示し、どこか考えるクイズを出題し、景観まちづくり学習への興味と見通しをもたせた。	<p>問題 これはどこでしょうか。</p>   <p>ヒント 4年生や6年生がいきました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・景観まちづくりに興味をもった。 ・現在感じている柚野の良さを思い浮かべることができた。
1	中学校屋上	グラウンドを挟んで向かいにある柚野中学校の屋上に上り、柚野地区を眼下に見た。四方を見渡すことができなかつた不足感を校外に出てみたい、もっと高いところから見てみたいという思いにつなげた。		<ul style="list-style-type: none"> ・柚野地区は、自然が溢れる地域だとわかつた。 ・全て見渡すことはできなかつたため、もっと見える場所へ行ってみてみたいと思った。
2	延命寺山 5月19日	地域の方にガイドをお願いし、近くにある延命寺山に登って柚野地区を一望した。柚野地区には改めて田んぼが多く、水が豊富であると感じた。その水はどこから来ているのかという疑問から、校外学習へ出掛けたいという思いをもった。	 	<ul style="list-style-type: none"> ・柚野の町は緑が多くてとても美しいと感じた。 ・水はどこから引いているのか疑問をもち、さらに追究していきたいと思った。
1	熊野神社(わき水) 6月16日	家の人にインタビューをして熊野神社に湧水があると知り、見学に出掛けた。地域の方にガイドをしていただき、柚野地区には湧水地が3ヶ所あることや水道組合を作つて湧水を水道水として利用していることを知つた。 さらに、柚野地区の湧水について学びを深めたいと意欲を高めた。	 	<ul style="list-style-type: none"> ・柚野地区には実際に湧水があり、今も生活に使われていることに驚いていた。 ・触ってみるととても冷たくてこの水は他にどんなことに使われているのか調べたいと思った。
1	教室 地域の方による講話 6月20日	柚野地区の湧水に詳しい地域の方に来ていただき、湧水の利用について話を伺った。その多くは柚野地区を流れる芝川に流れていることや芝川の水源自体が湧水であることを知つた。また芝川の水は豊富できれいだ		<ul style="list-style-type: none"> ・芝川の水は湧水だったと知り、すごいと思った。 ・芝川の水はきれいであつたからサワガニやホテルなどの生

		<p>からこそ生き物や田んぼなど自然豊かな景観を作りだしているとも教わり子供の興味・関心が3つのグループに分かれた。</p>		<p>き物がいたり、おいしい米がたくさんとれたりするのだと思った。</p>
6	<p>教室 地域の方 たちによる 講話 生き物 9月15日</p> <p>芝川 9月30日</p> <p>農業 10月5日</p>	<p>柚野地区の、豊富な水や豊かな自然を生かした特色ある農業や生き物や芝川の特徴等を地域の方に伺った。それぞれの視点から改めて柚野地区を見つめ直し、自分たちの住んでいる地域の良さを再認識した。</p> 	 	<ul style="list-style-type: none"> • 柚野で見られる生き物が実はすごく珍しい生き物だと知った。 • 芝川の水を使ってたくさんの電気を作っていることに驚いた。
2	教室	<p>柚野地区の人口グラフから柚野地区の抱える課題を知り、地域の良さを発信していくことで課題解決を図ろうと見通しをもった。柚野地区の魅力を絶景スポットとして紹介するため、自分たちの地域をさらに深く知りたいと思いをもちた。</p>		<ul style="list-style-type: none"> • このままでは柚野地区に人がいなくなってしまうのではと不安になった。 • 柚野地区の美しい自然や生き物が分かる風景を写真に撮って発信したいと思った。
2	猫沢学区 11月4日	<p>地域にある絶景スポットを自分たちで予想し、猫沢・鳥並の絶景スポットを確かめるため学区探検に出掛けた。</p>		<ul style="list-style-type: none"> • たくさんの絶景スポットを見つけることができ嬉しい。 • 同じ場所から撮影しているのに違う雰囲気の写真が撮れてとても不思議。
2	鳥並学区 11月16日	<p>各スポットでは自分たちで工夫して撮影を行い、それぞれの地域での絶景スポットを選んだ。また、同じ場所での撮影でも撮影の仕方によって風景の感じ方が変わることを知り、撮影の仕方に興味をもった。</p>		
4	<p>榑山 樹種 11月17日</p>	<p>NPO法人どんぐりの会と一緒に植樹活動を行った。柚野の風景に思いを馳せ、木札にメッセージを書き、自分が植樹した木に付けた。</p>	 	

1	<p>癡 11月25日</p>	<p>地域の写真家が撮影した写真を見て撮り方のポイントを話し合い、柚野の良さ（自然・生き物・農業）も入れる・被写体を中心からずらす・できるだけ関係のないものを入れない・その季節を感じるものを入れるなど4つの視点を学んだ。さらに、自分の撮影した写真をよりよくするにはどう工夫すればよいかを考えた。</p>		<p>・入れたほうがよいものや入れない方がよいもの、真ん中からずらしたり、季節を感じるものを入れたりなどするとよい写真が撮れると分かった。紅葉している木を入れて撮ろうと思った。</p>
2	<p>縣詩 12月8日</p>	<p>よりよい撮影の仕方を試すため、近くにある興徳寺へ出掛けた。興徳寺では、それぞれの場所から柚野の魅力が伝わる景観を学んだ方法を生かして撮影した。また、撮影した写真を見比べる中で、多くの写真を撮ってきたことに気づき、自分たち以外の人も見てもらいたいという思いが高まった。</p>		<p>・富士山だけでなく柚野の田んぼも一緒に撮影してみたら柚野らしさが伝わる写真になった。 ・今まで撮影した多くの写真を早く他の人にも見てもらいたい。</p>
4	<p>癡 1月14日</p>	<p>教育の日を利用して、子供たちが見付けた絶景スポットを他学年の児童や保護者・地域の方に発信した。その際、絶景スポット共に、今まで追究してきた自分たちが考える柚野地区の魅力も合わせて発信した。さらに多くの人達に知ってもらいたいと考え、マップづくりを行っていこうと見通しをもった。</p>		<p>・柚野地区の絶景スポットや魅力を多くの人に知ってもらうだけでなく、多くの人に絶景スポットの紹介活動を賛成してもらえて嬉しい。 ・さらに多くの人に知ってもらうには、マップづくりを行ってホームページなどに載せていきたい。</p>
2	<p>癡 3月8日</p>	<p>柚香ガイダンス（学校行事）を利用して、年間の学習を2年生に発信した。</p>		<p>・1年間の学びをマップにまとめて、2年生に見てもらえたことが嬉しい。</p>

③ 実施内容について

(1) 実施にあたり工夫した点

【他学年も含めた実践】

- ・令和3年度、校舎が景観に合うよう塗り替えられたばかりであったため、そこを景観学習の切り口とした。
- ・1学年だけでなく、全学年を景観づくりのキックオフの対象とし、様々な学年で景観まちづくりを意識して学習を行っていくようにした。
- ・毎年行っているNPO法人「どんぐりの会」との植樹活動を、景観学習の一環と位置付けてプログラムを行った。

【3年生の実践】

- ・「総合的な学習の時間（柚香学習）」での取組をベースに「景観」という切り口で捉え直して「景観まちづくり学習」を進めることができた。
- ・地域の写真家である高瀬幹夫さんら、柚野地区に詳しい方々との連携を景観まちづくり構想に入れた。
- ・校外へ探検に行くにあたり、撮影には児童1人1人がChromebookを持ち、出掛けた。子供が各々見つけた「絶景スポット」から見た景色を撮影することができた。

(2) 実施にあたり苦労した点

- ・景観学習を年間を通した学習に位置付けたため、単元構想も年間を通した長いものになった。教師側で単元の構想をしながらも、子供の学びの実態や、思いの広がりを大切にしながら、単元構想を修正していった。

(3) 児童の反応

- ・どんな所にどんなものがあるのか知る良い機会になったようだった。
- ・自分の地域の良さをたくさん見つけることができ、さらに柚野地区が好きになっていた。
- ・景観まちづくり学習は、柚野の良い景色を探し、次に景色について考え、景色に対し行動する学習だと捉えていた。柚野の風景や自然を大切にしたいという思いにつながっていた。

(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

柚野地区が、「自然が豊か」だけでない価値を見出すことができたと感じる。また、景観を守るために、地域のたくさんの方々が尽力していることも分かった。景観学習を通して、地域の方々との距離も近くなったように思う。

(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕

子供たちは、景観まちづくり学習を通して、身近な景観の良さや大切さに気づき、人や物と関わりながら柚野地区をもっと知ることができた。また、よりよい町になるために自分たちにできることを考え、景観を守っていきたいという思いを高めることができた。今後も、学校教育目標「柚野を愛し、柚野に学ぶ」姿の具現化を目指し、地域と共にある柚野小学校でありたい。